

感染再拡大防止徹底要請！ 感染対策の継続をお願いします！

市民の皆様には、新型コロナウイルス感染拡大防止について、ご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

県内の新規感染者数は減少傾向にあり、医療への負荷も低減している状況を踏まえ、54日間に及ぶ、まん延防止等重点措置が3月21日をもって解除されました。

しかしながら、感染は収束したわけではありません。4月は進学、就職、転勤、花見など人の移動や会食の機会が多くなる時期であります。「混雑している場所や時間を極力避ける」「会食は認証店の利用」「会話時はマスク着用の徹底」等の基本的な感染対策とともにリスクの高い行動の回避をお願いいたします。

また、本市における3回目のワクチン接種につきましては、順次行っております。3月11日からは小児（5歳～11歳）への新型コロナウイルスワクチンの接種を開始いたしました。家庭内感染や重症化予防の効果もあることから、接種していただきますようお願いいたします。

一日でも早く収束させるためには、市民・事業者皆様方の感染拡大防止に対するご理解とご協力が必要です。

引き続き、気をゆるめることなく、感染対策への取り組みにご協力をお願いいたします。

令和4年4月1日

相生市新型コロナウイルス対策本部 本部長

相生市長 **谷口芳紀**

新型コロナウイルスワクチン 小児(5歳~11歳)の接種について [4月号]

相生市では、3月11日より小児(5歳~11歳)に新型コロナウイルスワクチンの接種を開始しました。接種を希望される方はコールセンターまでご連絡くださいますようお願いいたします。

相生市医師会長からのメッセージ

新型コロナウイルスオミクロン株は、予想より感染力が強いが重症化は少ないということでした。しかし、わが国では2月に入って高齢者を中心に重症者が増加し、1日で200名以上の方が死亡したこともあります。

18歳以上の方は3回目接種(ブースター接種)を受けてください。3回接種された方は感染し難く、感染しても軽症または無症状の方が多いです。

5~11歳の小児も是非ワクチン接種を受けて下さい。

相生市では3月から5~11歳の方に新型コロナワクチン接種を始めました。小学校、幼稚園などで小児の感染者が増えています。また、感染しても重症化は少ないと言われていましたが、米国では昨年未ですでに数百人の小児が死亡しています。

わが国でも3月に京都府と神奈川県で10歳未満の小児2名が亡くなりました。うち1名は基礎疾患はありませんでした。

米国では昨年11~12月に870万回以上小児に接種され、アナフィラキシーショックの報告はありません。小児の2回接種後の発症予防効果は90%で、感染しても重症化を防ぐことが分かっています。

小児の接種後の副反応として、局所の痛みや疲れた感じ(50%以上)、38度以上の発熱(2~7%)などです。注射した日や翌日以降に症状が出ることが多いです。

また、心筋炎が米国で11例報告されていますが全員回復しています。本物に感染するよりはるかに少ないです。その他全ての副反応は、16~25歳の人と比べて小児の方が少ないです。

ワクチン接種何回受けても、三密避ける、黙食、マスク着用、うがい、手洗い、手指消毒など感染予防対策を今後も続けて下さい。



相生市医師会会長 西川梅右雄

【追加接種(3回目)の接種券が届いた方へ】

追加接種を希望される皆様に少しでも早く円滑に接種いただくため、ワクチンのメーカーに関わらず追加接種の時期が到来した方から順次接種を受けていただきますよう、ご協力をお願いします。

なお、接種券送付時にご案内しました接種時期が過ぎた方で、ワクチン接種を希望される方につきましては、コールセンターまでご連絡ください。

【1回目・2回目接種を終えられていない方へ】

接種を希望される方は、コールセンターまで、お早めにご連絡ください。

未接種の方や1回目のみで2回目の接種を終えられていない方へは、追加接種用の接種券は送付されません。

お問い合わせ先 相生市新型コロナウイルスワクチン接種専用コールセンター

Tel 0791-23-7167 (平日8時30分~17時15分) Fax 0791-23-4596

コールセンターへのご連絡の際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。